

笠間市社会福祉協議会

北川根支部だより

第150号



発行日 令和5年6月15日
 発行 笠間市社協北川根支部
 編集 北川根支部広報委員会
 印刷 (有)シーエス



社協北川根支部、令和5年度代議員会が4月22日、地域福祉センターともべで開催されました。

少子高齢化が進む中で、「自助」「共助」「公助」が叫ばれています。先ずは、自分達で何とかする。そして、地域住民がお互いに協力して。その上で困難な事には公的支援をする。という考え方です。

元々は、市民・国民の更なる負担を抑えようとするものであったはずですが、負担は益々増えるような状況になってきました。

地域の福祉活動は、様々なボランティアの働きで多くの部分が支えられています。元々日本は、様々な分野で、また肝心な所でボランティア頼みでやってきました。



皆様のご協力が
 地域と福祉に
 支部長 枝川 良雄



この度、会計をお受けすることになりました。フットワーク良く活動して参りますので、よろしくお願いいたします。

会計 村山 良一
 (西原区)



この度、副支部長の大役をお受けすることになりました。北川根地区の地域福祉に少しでも役に立てるよう努めて参ります。どうぞ、皆様のご協力をお願い申し上げます。



この度、重責を仰せつかりました。多少なりとも社協、地域の皆様のお役に立てればとの思いです。宜しくお願い致します。

【新任役員】

副支部長 小林 吉彦
 (旭ヶ丘団地)

必要な方に、必要な時にサービスが届くことが地域福祉の基本ですが、そこには益々皆様のご協力が必要です。できる方法で支える側になることが、今求められています。どうぞ、皆様のご協力を、よろしくお願い申し上げます。



女性部総会は、4月22日の支部代議員会終了後開かれました。

お知らせ

当面のスケジュール

- ◇女性部研修 7月4日予定
- ◇合同茶話会 11月頃予定
- ◇支部研修 令和6年1月頃予定
- ◇北川根地区を知る研修会 10月頃予定



この度、監事をお受けすることになりました。地域の福祉活動に少しでもお役に立てるよう努めてまいります。

監事 古山 均
 (住吉新宿)



この度、監事の大役をお受けすることになりました。社協の活動について勉強して、少しでも皆様のお役に立てる様に参ります。

監事 小林 雅治
 (旭ヶ丘団地)

副支部長 水庭 ちさい
 (留任)
 副支部長 山本 タツ子
 (留任)
 副支部長 箱田 素子
 (留任)
 副支部長 佐藤 富美子
 (留任)
 副支部長 川井 弘子
 (留任)
 副支部長 水田 幸子
 (留任)
 副支部長 上野 昌子
 (留任)

【女性部】

顧問 鈴木 裕子
 (新任)
 顧問 上野 昌子
 (留任)
 顧問 鶴田 浩一
 (留任)
 顧問 古山 雅治
 (留任)
 顧問 小藤 均
 (留任)
 顧問 佐藤 雅美
 (留任)
 顧問 村山 良一
 (留任)
 顧問 水庭 ちさい
 (留任)
 顧問 柴田 常雄
 (留任)
 顧問 小川 吉彦
 (留任)
 顧問 枝川 良雄
 (留任)

令和5年～6年度役員

令和5年4月22日

令和5年度代議員会概要

社協北川根支部長 枝川 良雄

令和4年度決算・令和5年度予算

於、地域福祉センターともベ

(1) 収入の部

項 目	4年度決算	5年度予算	備 考
1. 前年度繰越金	708,645	838,131	年度当初の事業資金
2. 会費還元金	714,000	750,000	
3. 助成金	121,400	125,000	
広報助成金	71,400	75,000	
福祉コミュニティ	50,000	50,000	
4. 雑収入	24,005	40,000	支部研修会参加費・預金利子
合 計	1,568,050	1,753,131	

(2) 支出の部

項 目	4年度決算	5年度予算	備 考
1. 総務委員会	499,737	565,000	
(1) 地区行事助成	240,000	265,000	
① 各区行事	100,000	100,000	地区行事助成（2万円×5地区）
② 区長会助成	30,000	30,000	北川根小学校区長会へ助成
③ 児童行事	0	15,000	北子連球技大会・北小運動会・二中体育祭 各5千円
④ 高齢者等助成	100,000	110,000	高齢者クラブ(5カ所)各2万円、クラブドコモ7補助1万円
⑤ 地域行事	10,000	10,000	北川根杯ゴルフ
(2) 支部研修交流会	37,176	70,000	入館料・食事代・高速料金等
(3) 在宅福祉	219,000	220,000	配食サービス食材費、歳末見舞金
(4) 事務費	3,561	10,000	切手・用紙代・コピー等
2. 広報委員会	146,982	150,000	支部だより(3回発行)印刷費
3. 代議員会等	3,200	10,000	会議用お茶代
4. 女性部活動費	80,000	80,000	茶話会・研修交流会開催経費等
5. 予備費	0	948,131	
合 計	729,919	1,753,131	

(3) 収支決算

収入決算額	支出決算額	5年度繰越金
1,568,050	729,919	838,131

ビス(毎月1回)、女性部研修交流会、合同茶話会、支部研修交流会等を行いました。

各地区福祉事業・区長会・高齢者クラブ等への助成・慰問等を行いました。また、広報活動として、『北川根支部だより』を年3回発行し、支部内各戸・法人会等に配布しました。

【議案第2号】

令和4年度事業報告

5 会員数が、前年度の124
170（法人56、特別19、一般1）
人56、特別13、一般1148）
へと、法人会員は変わらず、
特別会員は6減、一般会員も
22減、合計28減となりました。
青色パトロール車での支部
内巡回（月1回）毎月1日・
15日の立哨協力。女性部に上

【議案第1号】

根小學校の橘川三喜枝校長からの来賓あいさつがありました（市社協からは、柿長さんも出席されました）。

その後、民生委員児童委員の打越安洋さんを議長に選出、令和4年度事業報告・決算報告・会計監査報告、令和5年度事業計画・予算等の協議を行いました。令和5年度6年度役員の選出についても提案され、全議案が提案通り承認されました。

幼児から高齢者まですべての人が
安心して過ごせる地域づくりを

令和5年度
代議員会

笠間市社会福祉協議会北川根支部令和5年度代議員会は、4月22日（土）午前10時から笠間市地域福祉センターともべで開催されました。

■全議案が承認されました

た。庭水、部長が支田副支部長の司会で始まり、水
間市長が支部長あいさつを行ないまし
て、笠岡市社協の松田事務局長、北川

令和4年度決算報告

(1) 収入額

(2) 支出額

前年度比3・9%増

令和5年度事業計画

ア見守り運動

②毎月第2水曜日の青色パトロール

の也哉行事の空雲

①地域の福祉行事への助成
②地域の福祉行事への助成

③児童・生徒参加行事の活性化
④高年齢者・高齢者の生活支援

⑦ 研修
⑧ 研修
⑨ 研修
⑩ 研修
⑪ 研修
⑫ 研修
⑬ 研修
⑭ 研修
⑮ 研修
⑯ 研修
⑰ 研修
⑱ 研修
⑲ 研修
⑳ 研修
㉑ 研修
㉒ 研修
㉓ 研修
㉔ 研修
㉕ 研修
㉖ 研修
㉗ 研修
㉘ 研修
㉙ 研修
㉚ 研修
㉛ 研修
㉜ 研修
㉝ 研修
㉞ 研修
㉟ 研修
㊱ 研修
㊲ 研修
㊳ 研修
㊴ 研修
㊵ 研修
㊶ 研修
㊷ 研修
㊸ 研修
㊹ 研修
㊺ 研修
㊻ 研修
㊼ 研修
㊽ 研修
㊾ 研修
㊿ 研修

②市社協主催による研修会・行事等への費返参り

③北川根地区を知る研修会の実施
④青森県地方で研修会を受講

① 在宅福祉
② 食生活
③ 月一回
④ 実地

②寝たきり高齢者慰問（歳末見舞い）の実施

また、広報活動として「北川根支

女性部の活動としては、毎月1回（第

のひとり暮らしの高齢者等が対象のほかに、合同生活会を予定してゐます。

【議案第4号】

別表(2頁)の通り策定しました。

別組（1頁）の通り決定しました。

鎌倉殿御家人 「八田知家」と 小田城跡散策

1月18日

研修交流会に参加して

コロナ禍のため中断されていた北川根支部研修交流会が3年ぶりに実施されました。感染防止対策のため参加者18名とこじんまりとした交流会となりました。

テーマはNHKの大河ドラマ「鎌倉殿の13人」で知名度が高まった「鎌倉御家人・八田知家と小田城散策」（つくば市）でした。恒例の鶴田顧問による往路車中レクチャーに加え、小田城歴史ひろば案内所におけるビデオ学習、その後の現地ボランティアによる城跡案内で、小田家15代400年にわたるロマンに想いを馳せたものでした。



昼食は「キャニオン」の名物ハンバーグに舌鼓をうった後、フラワーパークでのショッピングも楽しみ、早めに帰路につきました。

(水田 諭)

長兎路地区ふれあいサロン兎

終活セミナーを受講して

長兎路地区「ふれあいサロン兎」にて、3月9日「終活セミナー」が行われました。



長兎路地区の「ふれあいサロン兎」(3月9日)

講師は、行政書士の金木裕之先生。参加者は日ごろより大分多く、この問題への感心の深さがうかがわれました。

私もそろそろ八十路、その時のために子ども達ときちんと話し合い、整理して書き残しておかねばと思いながら、ついあつと回しになっており、だれにも訪れるその時を認めるのが怖く、目をそむけて来たような気がします。

セミナーの内容は、明日へつなぐノート（エンディングノート）の意味と書き方についての説明が大半であり、これは自分自身の記録、もしもの時に備えての記録また、財産についての記録、お世話になった方々へのメッセージとなっていました。

相続についての質問も多く、適確なご指導をいただき、大いに勉強になったところです。

特に印象に残ったのは、このノートは終着の時のみに使うのではなく、



この日は、金木裕之さんによる「終活セミナー」

【退任役員】

支部長

鈴木 裕



13年間携わった中で、支部長9年に対してのご支援・ご協力に感謝申し上げます。宜しく願います。

※鈴木さんは顧問に就任

副支部長

水田 諭

副支部長

枝川 良雄

監事

小川 慎吾

監事

氏家 明夫

顧問

柴田 常雄

顧問

菅谷 亨

※柴田さんは副支部長に就任

編集後記

コロナ禍で3年余も変わり、ようやく日常生活が戻りつつある。このまま収束に向かうのか、それとも……。社協の活動も気を配りながら、少しずつ再開しています。マスク生活が長く続いたことで、今なお、マスクを外さない、外せない人も多く、素顔で語り合える日の近いことを願う。

(藤森)